

# Shibaura Machine

View the Future with You

## 株主の皆さまへ 第101期中間報告書

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

### 芝浦機械株式会社

証券コード：6104

# 株主の皆さまへ



取締役社長  
坂元 繁友

株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申し上げます。  
ここに、株主の皆さまへ（第101期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

## <当第2四半期の状況と業績>

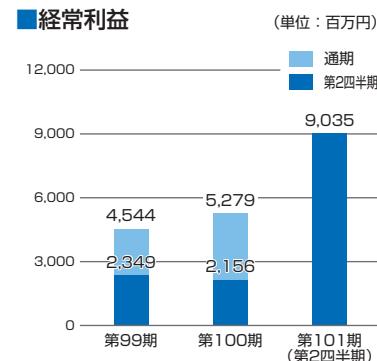
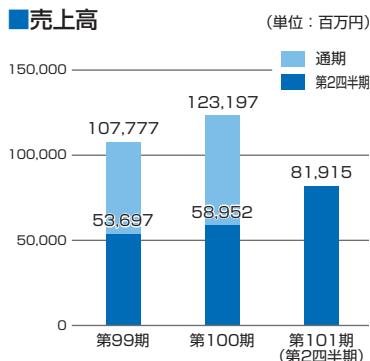
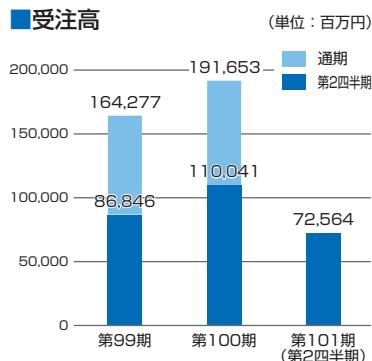
当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国における景気減速や、米国をはじめ世界各国におけるインフレや金融引き締めなどの影響が継続するなど、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済は物価上昇や海外景気の下振れによる景気の下押し圧力が継続したものの、生産、設備投資に一部持ち直しの動きが見られました。

当社グループを取り巻く経済環境は、世界的に脱炭素化などの社会課題解決に向けた動きが加速していることを背景として、EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要が拡大しているものの、部材・エネルギー価格の高止まりや中国、米国などの景気低迷の影響などにより厳しい状況が継続いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループは当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行を推進しております。2023年度の業績予想（2023年5月15日公表）は、「経営改革プラン」最終年度（2023年度）の売上高、営業利益、営業利益率の目標値を超過する計画としており、達成に向けて引き続き各種施策を遂行いたします。

当第2四半期連結累計期間の前年同期比における受注高は中国、北米を中心に減少したことにより、725億6千4百万円（前年同期比34.1%減、海外比率72.7%）となりました。売上高は中国におけるリチウムイオン電池向け

## 業績ハイライト



セパレータフィルム製造装置の大幅な増加により、819億1千5百万円（前年同期比39.0%増、海外比率77.5%）となりました。損益については、規模増加などによる増益効果により、営業利益は81億6千4百万円（前年同期比388.6%増）、経常利益は90億3千5百万円（前年同期比318.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は相模物流施設（「MFLP座間」）の事業化に係る当社相模工場の南側一部敷地の売却益の計上などにより、143億5千9百万円（前年同期比677.1%増）となりました。なお、当社相模工場の一部敷地の売却益については、等価交換方式のため譲渡先である三井不動産株式会社が譲渡資産土地に建設した建物の持分取得に充てられております。

## <連結業績予想などの将来予測情報に関する説明>

通期の業績につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

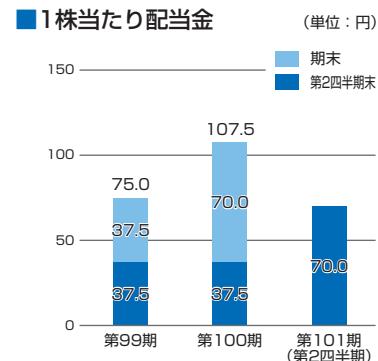
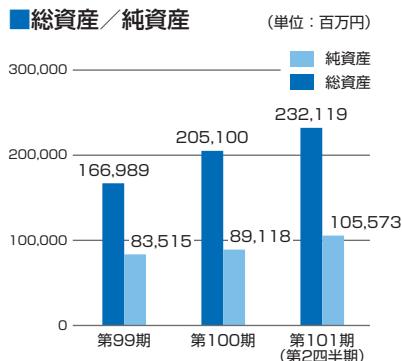
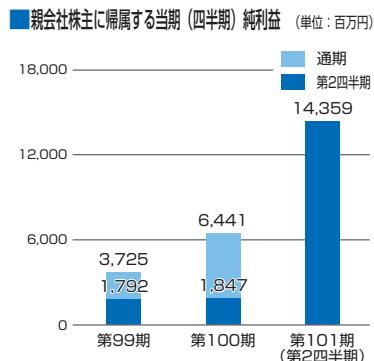
## <配当について>

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。利益剰余金につきましては、企業の継続的發展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、人的資本の強化や生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

当第2四半期末配当につきましては、1株当たり70.0円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



# 事業別の概況

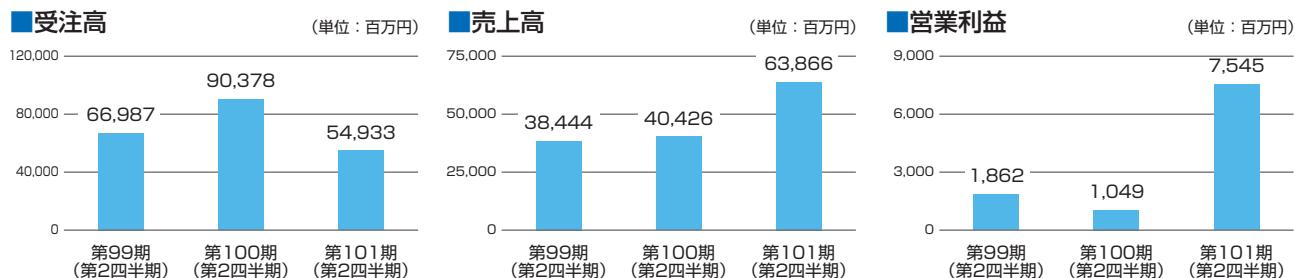
## 成形機事業【射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など】

射出成形機においては、販売は微減、受注は国内で増加したものの、北米、中国において景気減速による市況悪化の影響により減少いたしました。

ダイカストマシンにおいては、自動車向けが、販売は韓国、東南アジアで増加、受注は国内、北米で増加いたしました。

押出成形機においては、リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が、販売は中国で大幅に増加、需要は引き続き高水準で推移しておりますが、セパレータフィルムの生産性を向上させる次世代機種への切替時期のため仕様決定に時間がかかっている案件などもあることから、受注は中国で減少いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は549億3千3百万円（前年同期比39.2%減、海外比率82.9%）、売上高は638億6千6百万円（前年同期比58.0%増、海外比率88.1%）、営業利益は75億4千5百万円（前年同期比618.9%増）となりました。

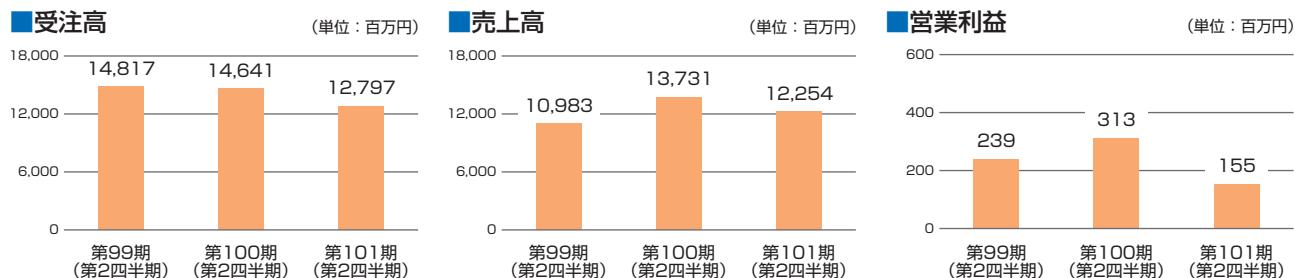


## 工作機械事業【工作機械（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など）、超精密加工機など】

工作機械においては、販売は国内における産業機械向けが減少いたしました。受注は北米におけるエネルギー関連向けが増加したものの、国内における産業機械向け及び中国における風力発電向けが減少いたしました。

超精密加工機においては、光学系金型向けが、販売は微減、受注は国内、中国で減少いたしました。

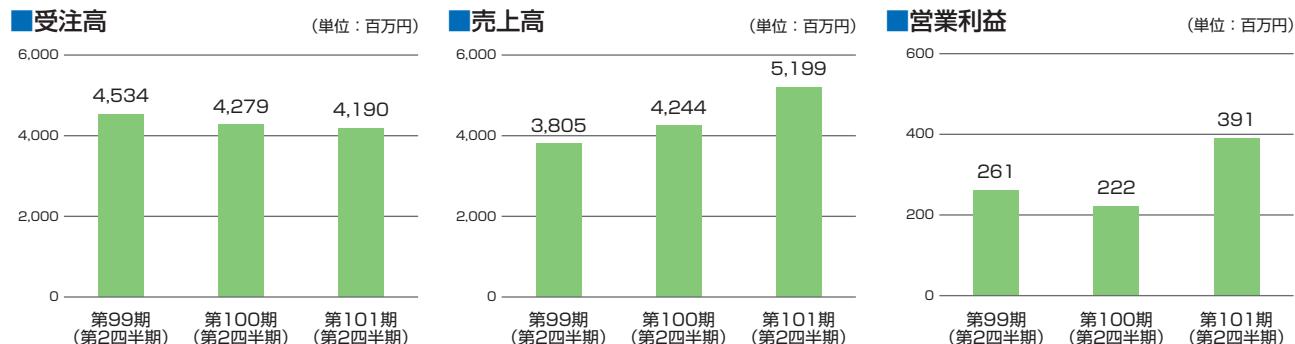
この結果、工作機械事業全体の受注高は127億9千7百万円（前年同期比12.6%減、海外比率54.3%）、売上高は122億5千4百万円（前年同期比10.8%減、海外比率55.9%）、営業利益は1億5千5百万円（前年同期比50.4%減）となりました。



## 制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

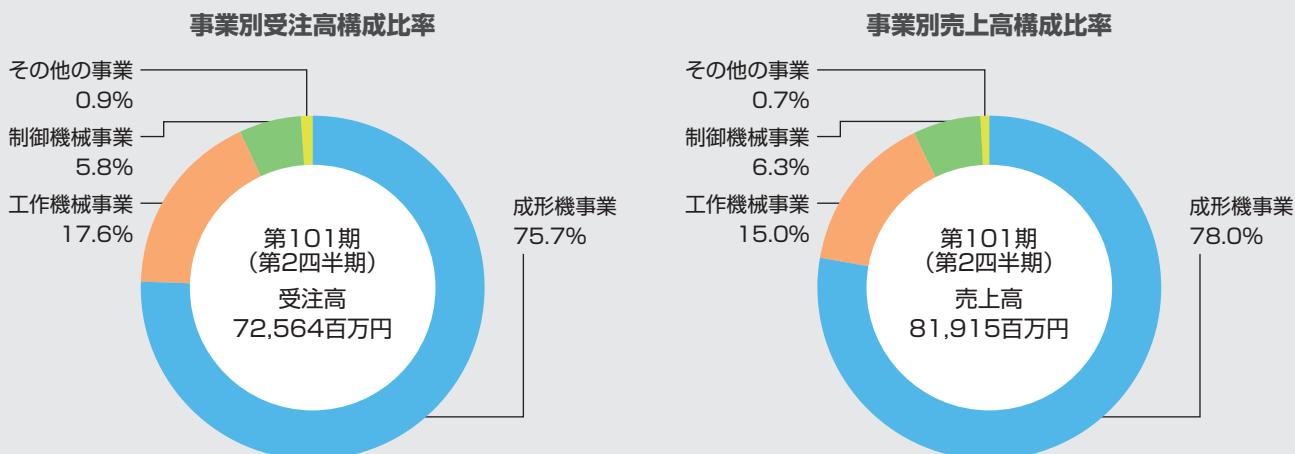
制御機械においては、販売は国内における電子制御装置及びシステムエンジニアリングが増加いたしました。受注は微減となりました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は41億9千万円（前年同期比2.1%減、海外比率6.3%）、売上高は51億9千9百万円（前年同期比22.5%増、海外比率5.7%）、営業利益は3億9千1百万円（前年同期比75.8%増）となりました。



## その他の事業

その他の事業全体の受注高は6億4千2百万円（前年同期比13.5%減、海外比率1.9%）、売上高は5億9千5百万円（前年同期比8.4%増、海外比率3.0%）、営業利益は5千6百万円（前年同期比15.3%減）となりました。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第101期第2四半期 (2023年9月30日現在)	第100期 (2023年3月31日現在)	科 目	第101期第2四半期 (2023年9月30日現在)	第100期 (2023年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>186,393</b>	<b>173,288</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>114,443</b>	<b>107,001</b>
現金及び預金	46,819	50,855	支払手形及び買掛金	41,685	36,544
受取手形、売掛金及び契約資産	25,392	26,201	短期借入金	11,383	14,011
商品及び製品	52,330	39,086	リース債務	234	207
仕掛品	45,703	41,142	未払法人税等	2,409	521
原材料及び貯蔵品	42	46	未払費用	3,079	2,468
その他の流動資産	16,174	16,016	契約負債	51,143	48,755
貸倒引当金	△ 69	△ 60	賞与引当金	1,999	1,904
<b>固 定 資 産</b>	<b>45,725</b>	<b>31,812</b>	製品保証引当金	921	1,033
<b>有形固定資産</b>	<b>32,344</b>	<b>20,277</b>	その他の流動負債	1,586	1,554
建物及び構築物	19,980	9,217	<b>固 定 負 債</b>	<b>12,103</b>	<b>8,981</b>
機械装置及び運搬具	3,337	3,071	リース債務	624	171
土地	6,717	6,643	長期未払金	5	5
リース資産	816	357	繰延税金負債	2,721	0
建設仮勘定	984	448	役員退職慰労引当金	23	48
その他の有形固定資産	508	538	退職給付に係る負債	8,366	8,392
<b>無形固定資産</b>	<b>772</b>	<b>821</b>	資産除去債務	361	361
その他の無形固定資産	772	821	その他の固定負債	—	0
<b>投資その他の資産</b>	<b>12,608</b>	<b>10,712</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>126,546</b>	<b>115,982</b>
投資有価証券	10,941	8,214	<b>純資産の部</b>		
出資金	241	241	<b>株 主 資 本</b>	<b>93,417</b>	<b>80,727</b>
長期貸付金	3	4	資本金	12,484	12,484
繰延税金資産	516	1,497	資本剰余金	11,538	11,538
その他の投資	1,430	1,263	利益剰余金	77,270	64,594
貸倒引当金	△ 524	△ 508	自己株式	△ 7,876	△ 7,889
<b>資 産 合 計</b>	<b>232,119</b>	<b>205,100</b>	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>12,155</b>	<b>8,390</b>
			その他有価証券評価差額金	6,012	4,065
			為替換算調整勘定	6,315	4,478
			退職給付に係る調整累計額	△ 172	△ 152
			<b>純 資 産 合 計</b>	<b>105,573</b>	<b>89,118</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>232,119</b>	<b>205,100</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第101期第2四半期	第100期第2四半期
	(2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	(2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	81,915	58,952
売上原価	55,494	40,799
売上総利益	26,421	18,152
販売費及び一般管理費	18,256	16,481
営業利益	8,164	1,670
営業外収益	1,149	840
営業外費用	278	355
経常利益	9,035	2,156
特別利益	10,857	1
特別損失	10	203
税金等調整前四半期純利益	19,882	1,954
法人税、住民税及び事業税	2,610	598
法人税等調整額	2,912	△ 492
四半期純利益	14,359	1,847
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,359	1,847

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第101期第2四半期	第100期第2四半期
	(2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	(2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 60	△ 2,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,088	△ 1,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,499	△ 1,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,613	1,676
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,035	△ 3,214
現金及び現金同等物の期首残高	50,855	51,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,819	48,496

## 連結財務諸表のポイント

### 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ270億1千9百万円増加し、2,321億1千9百万円となりました。増加の主な内訳は、商品及び製品が132億4千3百万円、仕掛品が45億6千1百万円、建物及び構築物(純額)が107億6千2百万円増加したこと等によります。

### 負債

負債は、前連結会計年度末に比べ105億6千4百万円増加し、1,265億4千6百万円となりました。増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が51億4千万円増加したこと等によります。

### 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ164億5千4百万円増加し、1,055億7千3百万円となりました。増加の主な内訳は、為替換算調整勘定が18億3千7百万円、その他有価証券評価差額金が19億4千7百万円、利益剰余金が126億7千6百万円増加したこと等によります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.5%となりました。

### キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ16億7千6百万円減少し、468億1千9百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、6千万円の減少となりました(前年同四半期連結累計期間は21億6百万円の減少)。これは主として、税金等調整前四半期純利益の増加による収入が198億8千2百万円、仕入債務の増加による収入が50億2千3百万円、契約負債の増加による収入23億4千5百万円があったものの、有形及び無形固定資産除売却益の増加による支出107億7千8百万円、棚卸資産の増加による支出178億円等があったことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、10億8千8百万円の減少となりました(前年同四半期連結累計期間は15億8千3百万円の減少)。これは主として、有形固定資産の取得による支出12億3千4百万円等があったことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、44億9千9百万円の減少となりました(前年同四半期連結累計期間は12億1百万円の減少)。これは主として、長期借入金の返済による支出33億円、配当金の支払額16億9千1百万円等があったことによります。

## ■ 大規模マルチテナント型物流施設「MFLP座間」が竣工しました。

### ● 「MFLP座間」の概要

中期経営計画「経営改革プラン」に基づいた高収益企業への変革に向けた取り組みの一環として、相模工場の南側一部敷地をより有効に活用していくため、三井不動産株式会社（以下、三井不動産）と共同で事業化を推進しております。

2023年9月29日に大規模マルチテナント型物流施設である「MFLP座間」が竣工しました。

当施設は太陽光発電設備の設置により脱炭素を推進するなど、環境に配慮した物流施設となっております。

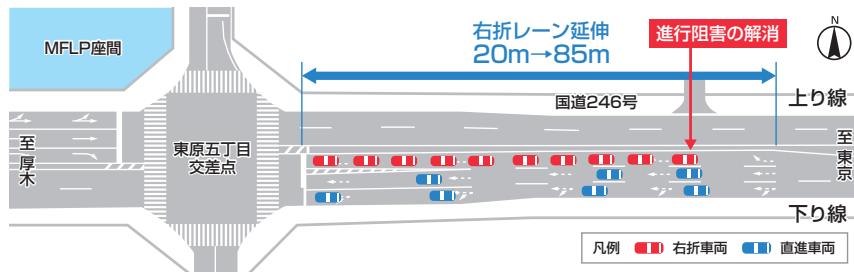


### ● 地域社会への貢献

- ・座間市と防災協定を締結し、敷地内の一部を地域の防災拠点「防災パーク」として整備、災害時の拠点や地域住民、学校、消防署等の防災訓練・学習の場として提供
- ・災害時の備えとして、防災テント、マンホールトイレ、炊き出し用かまどとして利用可能なかまどベンチ、太陽光発電による電力供給でスマートフォンなどが充電できるベンチ等を整備
- ・国道246号の車線延伸により交通渋滞の緩和と安全性向上に貢献（民間企業による直轄国道の交差点改良は神奈川県初）



「防災パーク」は防災訓練や災害時の拠点として活用



国道246号の車線延伸により交通渋滞の緩和と安全性向上に貢献

詳細につきましては2023年9月29日に公表しております「相模工場敷地の有効活用に伴う三井不動産との共同事業化の推進（物流施設の竣工）に関するお知らせ」をご覧ください。

<https://www.shibaura-machine.co.jp/documents/jp/ir/library/kohyo/2023/20230929.pdf>



## ■ 芝浦機械の「8つの技術プラットフォーム」のご紹介

芝浦機械は、技術力とその基盤となる技術者を何よりも大切にしてきました。加えて、「ないものはつくる」という考えのもと、お客様に合わせて多種多様な製品を生み出してきたことにより、様々な分野の技術力を蓄えてきました。こうした過程で磨き上げてきた「8つの技術プラットフォーム」を基盤に、幅広い産業領域で先進の機械を開発・製造しています。

1 一歩進んだ精度を実現する <b>匠の加工・組立・測定技術</b>	2 多様な用途分野に対応できる <b>加工機・成形機の設計技術</b>	3 インテグレイティブな <b>カスタマイズ技術</b>	4 機械性能を最大限に活かす <b>材料技術</b>
5 機械群ごとに最適化された <b>制御・メカトロ・IoT技術</b>	6 高精度を支える <b>摺動と回転</b>	7 対象材料の理解に基づく <b>金型起点の成形加工技術</b>	8 熱・光・真空を活用した <b>ナノ加工技術</b>

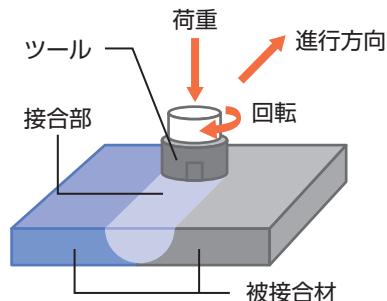
### ● 「8つの技術プラットフォーム」の活用例

#### 4 材料技術

**接合技術：材料の知見と工作機械の制御技術が実現する異材をつなげる技術**

異なる機能を有する金属等の材料を適材適所で使用して、製品の更なる多機能化、高機能化、高付加価値化を実現するために材料をしっかりとつなげる異材接合技術が期待されています。

この異材接合では、隣り合った材料を摩擦熱で軟化させながら混ぜ合わせて接合する技術で、芝浦機械が持つ剛性が高く力強い工作機械とその制御技術により、安定した接合を可能にしています。



#### 5 制御・メカトロ・IoT技術

**協働ロボット：人と共存・協調する制御技術**

先進国では高齢化に伴い生産年齢人口の減少が進んでおり、生産の自動化と人がより創造的な活動にあたるためにロボットの需要が増加しています。一方で、マスカスタマイゼーション・多品種混流生産が拡大しており、人の能力が必要な仕事がたくさんあります。

芝浦機械には人と共存・協調する協働ロボットがあります。人を傷つけないように力や動く速さを制御し、人や周りの様子を理解する知能を持たせることで、人と同じ場所で、人と隣り合って、人と連携して働くロボットです。



# グローバルネットワーク (2023年9月30日現在)

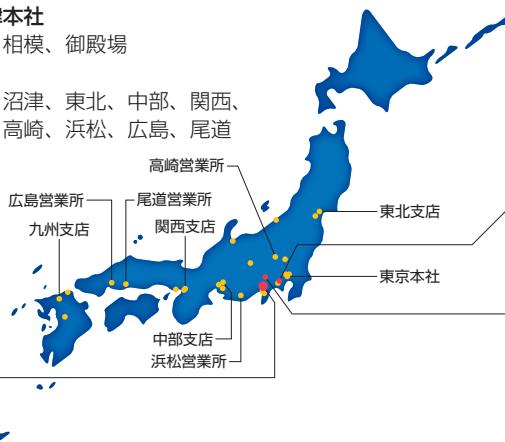


本社  
製造拠点  
販売・サービス拠点

● 東京本社、● 沼津本社  
● 工場 沼津、相模、御殿場  
● 27拠点  
(主な拠点) 東京、沼津、東北、中部、関西、九州、高崎、浜松、広島、尾道



沼津本社  
沼津工場



相模工場



御殿場工場



製造拠点  
販売・サービス拠点

● 工場 中国、インド、タイ  
● 43拠点  
東アジア 9拠点  
東南アジア 27拠点 (インド21拠点含む)  
北米・中南米 6拠点  
欧州 1拠点

中国工場  
SHIBAURA MACHINE  
(SHANGHAI) CO., LTD.



インド工場  
SHIBAURA MACHINE  
INDIA PRIVATE LIMITED



タイ工場  
SHIBAURA MACHINE MANUFACTURING  
(THAILAND) CO., LTD.



# 会社の概況／株式の状況 (2023年9月30日現在)

## 会社の概況

- (1) 所在地  
東京都千代田区内幸町二丁目2番2号
- (2) 創業  
1938年(昭和13年)12月
- (3) 設立  
1949年(昭和24年)3月
- (4) 資本金  
124億8千4百万円
- (5) 従業員数  
連結：3,047名(前期末比10名増)  
単独：1,693名(前期末比10名増)
- (6) 役員(2023年12月1日現在)
- |              |      |
|--------------|------|
| 代表取締役会長      | 飯村幸生 |
| 代表取締役社長      |      |
| 社長執行役員       | 坂元繁友 |
| 最高経営責任者      |      |
| 最高執行責任者      |      |
| 取締役執行役員      | 小林昭美 |
| 取締役執行役員      |      |
| 最高財務責任者      | 大田浩昭 |
| 社外取締役        | 佐藤潔  |
| 社外取締役        | 岩崎清悟 |
| 社外取締役        | 井上弘峰 |
| 社外取締役        | 寺脇一知 |
| 社外取締役        | 早川知佐 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 高橋宏  |
| 社外取締役(監査等委員) | 今村昭文 |
| 社外取締役(監査等委員) | 荻茂生  |

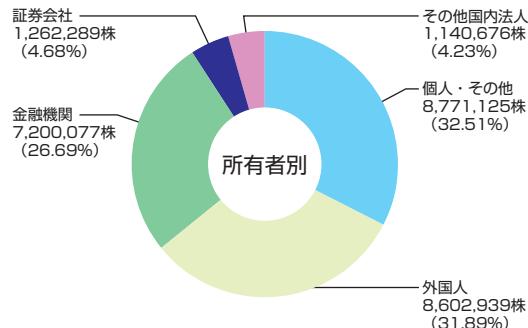
## 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 72,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 26,977,106株  
(自己株式2,809,845株を含む)
- (3) 株主数 14,596名  
(前期末比3,467名増)
- (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,220千株	13.32%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,682	6.96
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	628	2.60
株式会社静岡銀行	596	2.47
芝浦機械従業員持株会	539	2.23
株式会社三井住友銀行	536	2.22
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	512	2.12
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	468	1.94
芝浦機械取引先持株会	458	1.90
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	443	1.83

- (注) 1. 当社は、自己株式を2,809,845株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## (5) 株式の分布状況



- (注) 自己株式を含みます。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会については3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日

期末配当基準日 毎年3月31日

中間配当基準日 毎年9月30日

公告方法 電子公告 <https://www.shibaura-machine.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店  
及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

芝浦機械株式会社ホームページ  
<https://www.shibaura-machine.co.jp>



株主さま向け アンケート

## よりよいIR活動のために 皆さまの声を お聞かせください



当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ですが、アンケートへのご協力を  
お願いいたします。(所要時間は5分程度です)

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6104

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から

いいかぶ

検索



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信  
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから  
カメラ機能でQRコード読み取り→  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を  
進呈させていただきます

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニ  
ケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスに  
より実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL: info@e-kabunushi.com